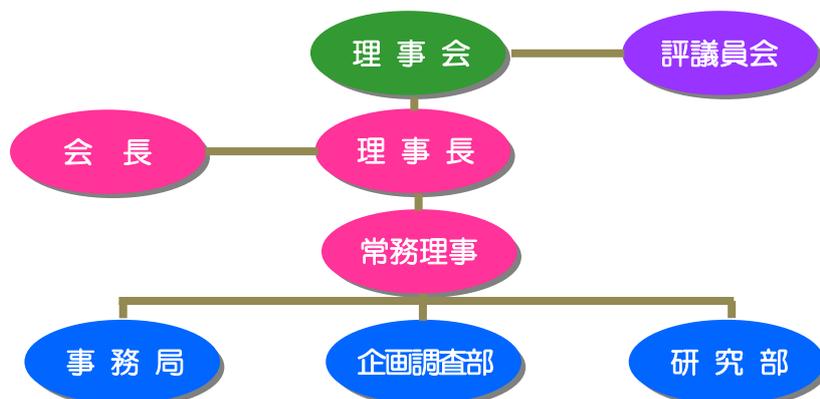


1. 財団の概要

法人名	公益財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団
理事長 (代表理事)	富澤 龍一
所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿一丁目 34 番 5 号 VERDE VISTA 新宿御苑 3 階
電話/FAX	03-5919-1631 (代表) / FAX 03-5919-1641
ホームページ	http://www.dia.or.jp/
設立	平成 5 (1993)年 6 月 18 日 (厚生省許可) 平成 22 (2010)年 12 月 1 日 公益財団法人に移行 (内閣府認定)
目的	高齢社会の諸問題に関する実践的な調査・研究活動を通じて、保健・医療および福祉等の分野の課題の解決に寄与する
主な事業	高齢社会における「健康」「経済」「生きがい」に関する調査・研究、 ならびに諸問題に関する啓発活動・活動成果の普及
賛助会員 29 社 (五十音順)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭硝子株式会社 ・ キリンホールディングス株式会社 ・ JX ホールディングス株式会社 ・ 東京海上日動火災保険株式会社 ・ 株式会社ニコン ・ 日本郵船株式会社 ・ 株式会社ピーエス三菱 ・ 三菱アルミニウム株式会社 ・ 三菱化学株式会社 ・ 三菱化工機株式会社 ・ 三菱ガス化学株式会社 ・ 三菱地所株式会社 ・ 三菱自動車工業株式会社 ・ 三菱重工業株式会社 ・ 三菱樹脂株式会社 ・ 三菱商事株式会社 ・ 三菱製鋼株式会社 ・ 三菱製紙株式会社 ・ 三菱倉庫株式会社 ・ 株式会社三菱総合研究所 ・ 三菱電機株式会社 ・ 株式会社三菱東京 UFJ 銀行 ・ 三菱マテリアル株式会社 ・ 三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社 ・ 三菱 UFJ 信託銀行株式会社 ・ 三菱 UFJ ニコス株式会社 ・ 三菱レイヨン株式会社 ・ 明治安田生命保険相互会社 ・ 郵船ロジスティクス株式会社

2. 執行組織



当財団ホームページトップページ



3. 評議員・理事・監事

評議員

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

(敬称略。五十音順)

氏名	所属
秋山 弘子	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
安藤 高夫	医療法人社団永生会 理事長
池上 直己	慶應義塾大学 名誉教授
伊藤 一道	株式会社三菱総合研究所 人事部長
荻原 隆二	国家公務員共済組合連合会 東京共済病院 介護老人保健施設ケアなかめぐろ 施設長
菅原 弘子	福祉自治体ユニット 事務局長
徳川 斉正	東京海上日動火災保険株式会社 執行役員総務部長
西貝 昇	三菱地所株式会社 執行役員総務部長
西村 昌記	東海大学健康科学部 教授
藤原 佳典	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長
丸井 英二	人間総合科学大学人間科学部 教授
簾 孝志	旭硝子株式会社 執行役員人事部長
三好 敏也	キリンホールディングス株式会社 取締役常務執行役員
安井 義一	三菱マテリアル株式会社 執行役員人事部長
山本 広志	三菱電機株式会社 人事部次長
吉田 芳之	日本郵船株式会社 常務経営委員 総務本部長

理事

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

(敬称略)

氏名	所属
会長 松尾 憲治	明治安田生命保険相互会社 特別顧問
理事長(代表理事) 冨澤 龍一	三菱化学株式会社 特別顧問
常務理事(業務執行理事) 樋渡 泰典	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団
天本 宏	医療法人財団天翁会 相談役
河村 博江	一般財団法人長寿社会開発センター 理事長
菊池 令子	公益社団法人日本看護協会 副会長
鈴木 邦彦	公益社団法人日本医師会 常任理事
祖父江逸郎	名古屋大学 名誉教授
辰巳 文一	株式会社三菱東京 UFJ 銀行 総務部長
田中 滋	慶應義塾大学 名誉教授
廣田 康人	三菱商事株式会社 代表取締役常務執行役員
船戸 崇	三菱重工業株式会社 常務執行役員
堀田 力	公益財団法人さわやか福祉財団 会長
前田 実	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団
水田 邦雄	一般社団法人シルバーサービス振興会 理事長

監事

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

(敬称略)

氏名	所属
金子 茂夫	金子会計事務所(公認会計士・税理士)
伊藤 尚志	三菱 UFJ 信託銀行株式会社 専務取締役

4. 理事会・評議員会の開催状況

理事会

開催日 (※：定時理事会)	決議事項 (●)・報告事項 (◇)
平成 27 年 5 月 18 日 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 26 年度事業報告及び附属明細書承認の件 ● 平成 26 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録承認の件 ● 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 ◇ 職務遂行状況報告 ◇ 評議員候補者の件
平成 28 年 3 月 3 日 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 27 年度第 2 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 ● 平成 28 年度事業計画及び収支予算の承認の件 ● 賛助会員入会の件 ● 内部諸規程の制定及び改正の件 ◇ 職務遂行状況の報告

評議員会

開催日 (※：定時評議員会)	決議事項 (●)・報告事項 (◇)
平成 27 年 6 月 3 日 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 26 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録承認の件 ● 評議員選任の件 ◇ 平成 26 年度事業報告の件
平成 27 年 10 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 評議員選任の件
平成 28 年 2 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 評議員選任の件
平成 28 年 3 月 3 日 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 28 年度事業計画及び収支予算の承認の件 ◇ 賛助会員入会の件 ◇ 内部諸規程の制定及び改正の件

5. 研究スタッフ（平成28年4月1日現在）

石橋 智昭 主席研究員／研究部長（博士〈医学〉）

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスサービスリサーチ
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービスの質の可視化 介護保険制度の政策評価 生きがい就業の健康維持効果
近年の主な業績	<p>(著書／分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> インターライ方式 ケア アセスメント—居宅・施設・高齢者住宅(翻訳). 医学書院(2011年) 介護従事者 初任者研修テキスト(分担執筆). 介護労働センター(2015年) 介護従事者 初任者研修テキスト(分担執筆): ミネルヴァ書房(2013年) Regulating Long-Term Care Quality ; An International Comparison. Cambridge University Press, 2014. Towards Human Rights in Residential Care for Older Persons: International Perspectives; Human rights and residential care for older people in Japan. Routledge, 2015. <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護人材をどう確保するか：日本版キャリアパスの検証（特集 高齢先進国のビジョン）『病院』71(9)708-712（2012年9月） アセスメントデータを用いた居宅ケアの質の評価—HC-QI の活用. 老年社会科学 33(3)484-489(2011年) Should the provision of home help services be contained?: validation of the new preventive care policy in Japan. BMC health services research 10 224(2010年) 「介護予防の観点からみた生きがい就業の効用. 『病院設備』(VOL.56-4, 2014) 生きがい就業を支えるシルバー人材センターのシステム. 老年社会科学, Vol.37-1, 2015. <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイザーヘルスリサーチ振興財団・国際共同研究助成(2009年): 「訪問介護による生活援助と機能状態の関係」; デンマークにおけるパネルデータの検証から見た今後の日本の介護予防施策 科学研究費助成事業(2013-2015)「ケア現場のエビデンス集積を促進する利用者データベースの構築」 第46回(平成27年)三菱財団 社会福祉事業・研究助成「高齢者が支え手側となる「生きがい就業」の有用性検証」
大学・関係団体での役職	<ul style="list-style-type: none"> 慶応義塾大学医学部 非常勤講師 東邦大学看護学部 非常勤講師 千葉県松戸市 介護保険運営協議会 副会長 (公社)全国シルバー人材センター事業協会 優良センター等選定委員 (公社)全国シルバー人材センター事業協会 機能強化に関する検討会委員 特定非営利活動法人インターライ日本 理事 東京都健康長寿医療センター (研究協力員)

澤岡 詩野 主任研究員（博士<工学>）

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年社会学（社会関係）、都市社会学、建築学（都市計画）
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市高齢者の周縁部の社会関係（仲間や知人などの親族外のつながり） ・ 社会とつながり続ける手段としての ICT の可能性（情報通信技術） ・ 高齢期の第三の居場所（家庭、職場に続く居心地の良い場の形成）
近年の主な業績	<p>（論文／著書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会関係の研究において用いられている非親族との関係の指標；日本の高齢者を対象とした最近の実証研究のレビュー；澤岡詩野，古谷野亘，老年社会科学，第 33 巻第 1 号，47-59，2011 ・ 都市のひとり暮らし後期高齢者における他者との日常的交流；澤岡詩野，古谷野亘，本田亜起子，老年社会科学，第 34 巻第 1 号，39-45，2012 ・ 都市部の企業退職者の社会活動と社会関係におけるインターネットの位置づけ；澤岡詩野，応用老年学，第 8 巻第 1 号，31-39，2014 ・ 高齢者の非親族との電子メールを介した交流の特性；澤岡詩野，袖井孝子，森やす子，荒井浩道，社会情報学，第 2 巻第 3 号，15-26，2014 ・ 都市高齢者の近隣との関わり方と支え合いへの意識；非常時と日常における近隣への意識に着目して；澤岡詩野，渡邊大輔，中島民恵子，大上真一，老年社会科学，第 37 巻第 3 号，306-315，2015 ・ 荻窪家族プロジェクト物語；住む人・使う人・地域の人みんなでつくり多世代で暮らす新たな住まい方の提案，荻窪家族プロジェクト編著：瑠璃川正子，澤岡詩野，連建夫ほか，萬書房，2016（受賞歴） <p>（競争的資金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 20 年度 大川情報通信基金研究助成（申請代表 袖井孝子） 高齢社会における高齢者の IT 利用と QOL(生活の質)の向上 ・ 平成 22、23 年度 福祉医療機構事業助成(申請 シニア社会学会) ICT による高齢者孤立防止事業、孤立防止モデル普及事業 ・ 平成 22 年度 日本興亜福祉財団ジェロントロジー研究助成 ICT を活用した後期高齢期における社会活動継続に関する研究 ・ 平成 23 年度 文部科学省科学研究費補助金 若手 A（平成 23～25 年） 日常化しつつある都市在宅高齢者の交流媒体としてのインターネットの役割 ・ 平成 25 年度 厚生労働科学研究費補助金(平成 23 年、研究代表者 藤原佳典、分担研究者)地域保健事業におけるソーシャルキャピタルの活用に関する研究 <p>（受賞歴）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 14 年度 三井住友海上福祉財団賞 高齢者福祉部門 佳作 ・ 平成 23 年度 日本老年社会科学会 奨励賞

大学・関係団体 での役職	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京農業大学農学部バイオセラピー学科 非常勤講師 ・ 法政大学現代福祉学部 非常勤講師 ・ 東京都健康長寿医療センター研究所 協力研究員 ・ 日本老年社会学会（広報委員、査読委員）、日本応用老年学会（監事、編集委員）、シニア社会学会（理事、運営委員） ・ 日本建築学会、日本都市社会学会、社会情報学会、The Gerontological Society of America 会員 ・ (公財)東京都防災・建築まちづくりセンター 理事 ・ 内閣府平成 27 年度「高齢者の生活と意識国際比較調査」分析検討委員 ・ 内閣府平成 27 年度高齢社会フォーラム運営委員
-----------------	---

兪 今 主任研究員（博士<医学>）

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年医学、公衆衛生学、保健管理学
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者のうつ予防プログラムの開発と応用研究、メンタルヘルス ・ 介護予防 ・ 国際老人保健分野
近年の主な業績	(論文／著書) <ul style="list-style-type: none"> ・ 荒居和子、兪今、長田久雄：傾聴ボランティア活動に関連する社会的要因. 応用老年学会誌, 2009 ; 3(1):45-53. ・ 吉江妙実、兪今、長田久雄：高齢領域における音楽療法士の精神的自立性と他職種との連携の関連. 応用老年学会誌, 2010 ; 4(1):51-59. ・ 安順姫、芳賀博、兪今：介護予防ボランティア登録者の活動への参加頻度に関連する要因. 老年学雑誌 2011 ; 2 : 1-13. ・ 主な共著：「男性百歳の研究」、「精神障害の予防をめぐる最近の進歩」 (競争的資金) <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 23 年度 財団法人 総合健康推進財団 高齢者の身体活動量を促進する地域環境要因に関する研究(分担) ・ 平成 24 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)・2012 年度～2015 年度・高齢者高齢者のうつ予防のためのポピュレーションアプローチの実証研究(主任) ・ 平成 27 年度科学研究費助成事業・2015 年度～2017 年度(研究代表者島田今日子・分担研究者)・地域在住高齢者の社会的孤立に対する支援構築に向けた実証研究 (受賞歴) <ul style="list-style-type: none"> ・ Poster award(The 7th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology) 2003.11 ・ 第 68 回日本公衆衛生学会総会 優秀演題賞 2009.10
大学・関係団体 での役職	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜薬科大学 非常勤講師 ・ 聖学院大学 非常勤講師 ・ 老年医学会、老年精神医学会、老年社会学会、公衆衛生学会、民族衛生学会、健康心理学会、応用老年学会、IPPA

早尾 弘子 研究員 (修士<看護学>)

専門領域	・ 基礎看護学、健康情報分析学
研究テーマ	・ 地域生活者の健康に関する問題
近年の主な業績	<p>(論文/著書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護記録の減らし方, 中央法規, 分担執筆(2012年) ・ 尊厳死法制化の動きについて, エキスパートナース, 30(9), (2014年) ・ 多様化する看護活動の場について, 臨床看護, 24(5), (1998年) ・ ナースのためのバイタルサインの基礎知識(4)意識障害, 臨床看護, 23(11) (1997年) <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 科学研究費助成事業(2014-2015)「育児期の女性の保健行動と健康状態との関連～がん検診の啓発ツール開発に向けて～」

牧野 ひろこ 研究員 (修士<保健学>)

専門領域	・ 高齢者介護
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者および家族介護者のウェルビーイングに関する研究 ・ 東南アジアにおける高齢化に関する研究
近年の主な業績	<p>(修士論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護高齢者とその家族介護者双方における心理的ウェルビーイングへの関連要因 <p>(寄稿論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 牧野ひろこ「国際協力分野における障害者の就労支援」地域リハビリテーション, 2012;(7)10:829-832. <p>(学会発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「義足の工夫により幼稚園復帰を果たした極短断下腿切断例」(埼玉県理学療法士会県士会) <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公益財団法人ひと・健康・未来研究財団研究助成(2014年)「要介護高齢者とその家族介護者双方における心理的ウェルビーイングへの関連要因

安 順姫 研究員 (修士<老年学>)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年学
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ うつ予防プログラム終了後の自主グループの活動評価 ・ 介護予防自主グループ活動継続および活性化のための支援のあり方
近年の主な業績	<p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安順姫、芳賀博、兪今：介護予防ボランティア登録者の活動への参加頻度に関連する要因. 老年学雑誌 2011 ; 2 : 1-13. <p>(学会発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安順姫、兪今、兪峰、張慶鎬. 中国吉林省農村在住高齢者の心理的幸福感とその関連要因：2年間の縦断調査による検討. 第79回日本民族衛生学会総会；2014年11月. ・ 安順姫、兪今、兪峰、崔範日：中国東北農村地域における高齢者の社会参加と健康関連要因に関する縦断的研究. 第55回日本老年社会学会 大阪；2013年6月 ・ Shunji An, Jin Yu, Feng Yu. Effects of Physical and Mental Health Status on Depressive Symptoms Among Older Adults Residing in Rural DongBei Area of China. The 9th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology October, 2011.

中村 桃美 リサーチ・アシスタント (修士<老年学>)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年学
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバー人材センターにおける QOL 維持増進効果の検証
近年の主な業績	<p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石橋智昭, 中村桃美：「介護予防プログラムへの生きがい就業の活用」病院設備、56(4)、2014 ・ 中村桃美, 長田久雄, 杉澤秀博：「都市部シルバー人材センターにおける就業の高次生活機能の低下抑制への影響」. 老年学雑誌, 第6号 <p>(学会発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中村桃美, 石橋智昭, 長田久雄, 岡真人：「シルバー人材センター会員の地域活動への参加」. 第57回日本老年社会学会大会(2015/06) ・ 中村桃美, 石橋智昭：「シルバー人材センターの就業による介護予防効果；新入会員の生活機能に焦点をあてて」. 日本公衆衛生学会第74回大会(2015/11) ・ 中村桃美, 石橋智昭, 岡真人, 長田久雄：「シルバー人材センター新入会員の期待と現実(その2)ー希望職種への就業の有無と会員の満足度の関連ー」日本老年社会学会第56回大会 ・ 中村桃美, 石橋智昭, 長田久雄：「シルバー人材センターにおける介護予防対象層の就業状況」日本応用老年学会第9回大会

【客員研究員】

塚本 成美（城西大学経営学部 教授）

専門領域・テーマ

- ・ 経営社会学、経営組織論、人事労務論、雇用労働論

高野 龍昭（東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科 准教授）

専門領域・テーマ

- ・ 介護保険、ケアマネジメント（高齢者のケアマネジメントにおける援助方法と高齢者介護の制度・政策のシステム）

五十嵐 歩（東京大学大学院医学系研究科 講師）

専門領域・テーマ

- ・ 老年看護学（慢性期医療・施設・在宅における高齢者ケアの質評価・改善）

森田 彩子（東京医科歯科大学グローバル健康推進医学分野 助教）

専門領域・テーマ

- ・ 社会医学、公衆衛生学・健康科学、国際保健学
- ・ 高齢期における介護予防・健康づくり、健康都市プロジェクトの政策評価

阿部 詠子（順天堂大学保健看護学部 講師）

専門領域・テーマ

- ・ 在宅看護、多職種連携・協働・多因子介入

小野 恵子（武蔵野大学看護学部 准教授）

専門領域・テーマ

- ・ 地域・老年看護学、在宅ケア、在宅看護、訪問看護

研究スタッフの詳細は当財団ホームページをご参照ください

<http://dia.or.jp/profile/researcher/>



リンクしない場合は財団のトップページからアクセスしてください

6. 他機関・団体等との交流

(1) 「事業説明会」の開催

賛助会員会社を対象とする「第6回事業説明会」を11月12日に開催しました。参加された9社に対し、財団の事業概要および今後の事業の方向、財務情報・ガバナンス等について説明し、質疑応答を行ないました。

(2) 内閣府主催「平成27年度 高齢社会フォーラム」への参画

7月31日に「挑戦するシニアが時代を拓く—多世代が支えあう地域社会に向けて—」をテーマに開催されたフォーラムに、澤岡詩野主任研究員が企画運営委員および第3分科会「次世代を育むジジとバァバの力」のコーディネーターとして参画しました。

(3) 株式会社明治安田生活福祉研究所との連携

調査研究業務で親密な関係にある株式会社明治安田生活福祉研究所と12月8日に情報交換会を実施し、調査やシンポジウム等に関する情報提供や意見交換を行ないました。

また、前年度に共同実施した「仕事と介護の両立と介護離職に関する調査」について、本年度もマスメディアでの取り上げや照会が続いており、適宜情報連携を行なっています。

(4) シルバーサービス振興会の活動への参画

シルバーサービス振興会の活動に正会員団体として参画しています。

(5) 高齢社会 NGO 連絡協議会（高連協）の活動への参画

高連協の活動に正会員団体として参画するとともに、ネットワーク作りの一環として、他の正会員団体との情報交換も行ないました。

(6) ダイヤ・アクティブ・エイジング・アソシエーション（DAA）との連携

賛助会員会社退職者の活動グループで構成されるDAAの会員を対象に、「高齢期における子どもとの同居と自立意識」に関する2回目のアンケート調査を実施し、平成23年度に実施した前回調査とのコーホート分析等を行ないました。

また、3月11日に開催されたDAA全体交流会に富澤理事長、樋渡常務理事をはじめとした財団職員が出席し、運営に協力するとともにDAAの幹部や参加者との交流を深めました。

(7) NPO 法人かながわ子ども教室が内閣府「平成27年度社会参加活動事例」に選定

NPO 法人かながわ子ども教室は、賛助会員会社退職者を中心とした活動グループで、ダイヤ財団と親密な関係にあります。小学校や学童保育クラブなどに出張し、科学や暮らしに関する教室を毎年140回ほど（平成27年は139回）実施しています。

内閣府に当財団が推薦した活動内容が認められ、平成27年9月に内閣府「平成27年度社会参加活動事例」に選定されました。

